

洗掘対策により山の崩落を防ぐ (長野県上田市)

事業者：環境省 信越自然環境事務所

災害時に効果を発揮した3か年緊急対策の事例



対策名：No.34 自然公園等施設に関する緊急対策

事業名：根子岳登山線道路（歩道）事業（上信越高原国立公園）

- ポイント**
- 3か年緊急対策により、登山道の洗掘防止対策を前倒して実施
 - 登山道の機能を維持し、崩落等の土砂災害の発生を防ぐ

地域の概要・課題

国立公園では山岳利用のための登山道が整備されています。登山道は山岳地での主要幹線である一方で、雨水の流路となりやすく、大雨の際には雨水の浸食作用により登山道が深く洗掘され登山道の機能が損なわれ、また、それが原因で山腹の崩落や土砂災害につながる事があります。

令和2年7月豪雨でも、阿蘇くじゅう国立公園のくじゅう山などで土砂災害が発生していますが、少しでも被害を軽減するために、未然の対策が必要になっています。

事業の概要

上信越高原国立公園の根子岳登山道において、雨水による洗掘防止対策を、3か年緊急対策として前倒し、令和元年5月から11月にかけて実施しました。

効果

令和元年台風19号（10月）の豪雨では、長野県内では千曲川が氾濫するなど、甚大な被害が発生しましたが、対策を行った登山道においては洗掘が起こらず、登山道としての機能が維持され、山腹の崩落や土砂災害の発生を防ぐ事が出来ました。